

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援事業の取組事例

金ヶ崎町家庭教育支援事業（岩手県 金ヶ崎町）

実施主体

各保育園、各幼稚園、各小学校、子育て支援センター、子育て支援課

取組概要や経緯

次代を担う子供たちの健やかな成長のため、生活リズムの確立、運動習慣の定着等家庭で必要とされる学習課題について学び、明るく健全な家庭環境づくりを推進する。また、学校や家庭・地域が連携、協力しながら子供たちの健全育成に努める。

内容とポイント

◎家庭教育学級の開催（各学校等の保護者、児童生徒及び地域住民対象）

各保育園、各幼稚園、各小学校、子育て支援センターで、年1～2回の家庭教育学級を実施。

（親子のふれあい遊び・情報メディア教育・郷土食・ベビーマッサージ・防災教室・県警吹奏楽コンサート・運動能力教室・ヨガ教室・発達トレーニング・コーラス演奏会）

◎「家庭教育宣言運動」「地域子育て宣言運動」の取組

たくましかねがさきっ子育て協議会が推進する「家庭教育宣言運動」の一環として、強化週間（8月28日～9月1日）に幼児や児童生徒のいる各家庭において、早寝・早起き・朝ごはん・運動に取組んだ。また「地域子育て宣言運動」として、地域の子供の顔と名まえを覚えることと、「おはよう」等の声かけをすることの呼びかけを、全戸にチラシを配布して実施した。

◎ たくましかねがさきっ子育て推進大会開催

町民による評価・検証の場として、平成30年1月20日に、今年度のPTA活動や地域での取組みの事例発表、子供の人權や社会参加に関する基調講演会、パネル展等を実施した。



成果

- ・町内の多くの保護者に様々な学びの場を提供することができ、参加者が話題を共有することができた。
- ・「家庭教育宣言運動」の強化週間でチャレンジカードに取組んだことで、町内の子供たちの家庭での生活習慣について確認することができた。実施結果を子育て通信で各家庭に返し、今後の生活に活かしていけるようにした。
- ・たくましかねがさきっ子育て推進大会において、家庭や地域での取組みについて様々な場面においての成果を確認し合う機会となった。

今後の方向性

（課題）

- ・保護者からの家庭教育学級に関する要望を取り入れながら、子供や家庭の状況に応じた内容で実施できるようにする。
- ・チャレンジカードへの取組みにより、生活習慣の大切さを改めて認識する家庭もあるため、今後も継続していく。
- ・大会のアンケートを踏まえ、内容や時期等の検討をしていく。